

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか!
志村 たかよし です

羽田空港「機能強化」 都民の頭上に低空飛行経路!!



国交省レクチャーの冒頭で挨拶する小池晃参院議員=7/17

中央区では説明会の予定なし

6月8日の環境建設委員会、国際線の増便をはかるため羽田空港の新飛行経路を国が検討しているとの報告がありました。

現在の飛行経路は、東京湾を活用していますが、国際線の離着陸が集中する時間帯（午後3時〜午後7時）には、内陸部上空（都民の頭上）を活用した新しい飛行経路を飛ばすことによって、1時間当たり現在の80回の離着陸を90回

まで処理能力を拡大するとしています。

裏面に国交省が作った「新飛行経路の模式図と説明会の場所」を掲載しましたが、品川区付近では、1000フィート（約305m）上空を飛行機が着陸態勢で飛ぶこととなります。

私は、委員会で「現在、東京湾の上空を利用しているのは、都民への騒音被害や落下物などの事故のリスクを回避するためではなかったのか」と指摘し、議会と区民へのしつかりした対応を求めました。また、裏面の図でも明らかのように、国交省の説明会は、ほぼ新経路に沿って行われますが、中央区では予定されていないのです。



計画を批判する私（志村）

小池参院議員と国交省レクチャー

7月17日、日本共産党の小池晃事務所は、「新飛行経路」問題で国交省から説明を受け意見交換をおこなうレクチャーを参議院議員会館で開きました（写真）。中央区議団からは私が参加しました。

新飛行経路付近の議員や住民の方たちは計画の撤回を求め、成田から参加した方や現在の経路が通る江戸川区の議員から、深刻な被害の状況が訴えられました。

私は「中央区で説明会を予定していないのはなぜか。港区で高度1500フィート（約450m）品川区で1000フィート（約305m）の低さであれば、中央区や豊洲にある200m級の高層マンションでは目の前を飛行機が飛ぶことになる。晴海や勝どき、月島地域の超高層タワーマンションへの騒音の影響をシミュレーションし、中央区でも説明会を開くべき」と国交省に求めました。

新たな飛行経路案(模式図)と説明会の開催場所

